

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地区の消防団などに協力していただくよう連携をとっているが、近隣の住民も高齢化してきており、実際に避難が必要な状況になった場合、どれほどの協力が得られるのかが不明である。一度、地域の方に協力していただきながら、夜間を想定した訓練を行う必要がある。	地域と連携のとれた防災訓練・避難訓練を定期的に行うことができる。	まず、4月に行われる地域の集まりに出席し、趣旨の説明、同意をいただく。その後、双方の都合により日程を調整し、避難訓練を行う。継続して連携がとれるように、グループホームとして地域の集まりに出席する。	6ヶ月
2	36	定期的な職員研修(OJT・OFFJT)を行っているが、まだまだ身体の介護を中心としているところがあり、人格の尊重やプライバシーといった認知症ケアに大切な部分が十分に確保されていないように思われる。継続した研修と共に、グループホーム職員としての個々の課題を明らかにしていく必要がある。	職員一人ひとりが認知症ケアについて積極的に学ぶ姿勢を持ち、認知症の方が安心して生活できるようになる。	当ホームに入社するまで介護経験が全くない職員も多いため、他のグループホームを見学することで自分のケアや業務を振り返る機会をつくる。(3月16日)また、4月からは定期的に行う自己の振り返りアンケートを元に個人面談を行っていく。	3ヶ月
3	11	職員の意見や要望はユニットリーダーが集約して、定期的に行われる管理者会議にて話し合いを行っているが、個々の意見や提案を聞く機会を設けていない。モチベーション向上のためにも、職員一人ひとりの意見や提案を聞く機会を設ける必要がある。	職員一人ひとりの意見や提案を明確にし、代表者に伝えていくことで、職員のモチベーションを高めていく。	個別に面談を行い、運営に関する職員一人ひとりの意見や提案を聞く機会を設ける。その内容については、全て代表者に伝え、必要な場合は管理者会議で議題として取り上げ検討する。	3ヶ月
4	45	職員配置によって、入浴時間帯(午後2時～)の業務に余裕がない。入浴しない方の見守りなども含めて、安全・安心した入浴が行えるように職員配置や業務分担を検討する必要があると思われる。	利用者・職員ともに安全・安心した入浴が行える。	今以上の人員を確保することは困難なため、入浴時間帯のみのボランティアを検討する。また、少しでもゆとりのある入浴が行えるよう、職員の休憩時間帯や業務分担の見直しを行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。